

# 公用車の運用規程は

坂本 好教 議員

## 広報ちくご15日号の 必要性は

**問** 何年度から、2回になったのか。1回にするとうつたのか。1回にするとうつたのか。1回にするとうつたのか。1回にするとうつたのか。

**市長公室長** 昭和46年から2回になっている。約40年という内容。報告する内容が古い内容になり、スパンが長くなる。情報発信の鮮度、タイムリーさが低下する。ページ数が増え、読みにくくなり、ページ数を減らせば情報量が制約される。

**地域支援課長** 委託や郵送という自治体もある。配布という手間がかかるという意見

**問** 市長が土曜・日曜の公務の際に、マイカーを自分で運転されて来られると聞く。公用車の運用規定はあるのか。また土曜・日曜の運用はどうか。また土曜・日曜の運用はどうか。また土曜・日曜の運用はどうか。



必要なのか、15日号

もあるが、隣組との関わりが持てる。将来に向けては、校区コミュニケーション構想もあり検討はするが、当面は現在のやり方でいきたい。

## 多忙を極める 民生委員

**問** 民生委員の仕事の内容で担当しているエリアと、年間の活動日数は。

**福祉事務所長** 平均では210から220世帯が一人の持分で、活動日数は平均で187日ほど。

**問** 福祉センターの入浴施設はなくなるのか。

**市民生活部長** 有効活用検討委員会にて検討している。

# 羽犬塚駅周辺の空洞化回避と 快適な道路環境を問う

山下 元生 議員

**問** 羽犬塚駅周辺の空洞化回避について市の対策は。

**市長** 羽犬塚駅は筑後市の玄関口である。昨年12月に新しい駅舎がリニューアルオープンし、それに伴い筑後市としても駅を中心として東西の周辺整備に今力を入れていくところである。

皆様による新たな賑わいづくりへの取り組みが進められていると聞いている。市としても商店街の皆様や地元の皆様また商工会議所などと連携し、議員が提案しているような「JR羽犬塚駅周辺が市民活動の舞台や、もてなしの空間」づくりと一緒に進んでいく。

## 442号バイパスの 渋滞解消は

**問** 国道442号バイパスの渋滞解消について問う。

**市長** 国道442号バイパスは10月3日に大川市より筑後市を通って八女市まで約16キロが開通した。交通量も大幅に増加していることは承知している。市としても筑後警察署に対し免許試験場交差点の交通渋滞の解消について改善をお願いしているところである。

**道路水路課長** 開通に伴い交通量が増えてきている。交通管理の問題でもあるので市として筑後署に出向き内容を申し上げた。

筑後署としては交通渋滞について把握されており、県警の交通指導課へ文書により信号機の調整を依頼されている。免許試験場交差点だけの部分的な調整ではなく、総合的に一斉に調整がされ改善が図られるものと思っている。



筑後市の玄関口であるJR羽犬塚駅